

外国人客員部	129
国際共同研究部	131
民族薬物資料館	135

研究所の活動記録

2006年の活動記録	139
研究所主催のセミナー・シンポジウム・公開講座など	
第11回和漢医薬学総合研究所夏期セミナー	142
第28回日本アーユルヴェーダ学会富山研究総会	145
第27回和漢医薬学総合研究所特別セミナー	148
「食と薬の研究会」	149
北里大学21世紀COEプログラム・富山大学21世紀COEプログラム	150
COE/JSPS-NRCT JOINT EVENING CONFERENCE	152
The 7 th Join Seminar organized by JSPS-NRCT Core University Program	153
静岡県立大学21世紀COEプログラム・富山大学21世紀COEプログラム	155
民族薬物資料館一般公開	157
部局学術交流協定	159
21世紀COEプログラム	160
新聞記事コピー	161

表紙の写真

マメ科の *Astragalus mongholicus* Bunge、黄耆、astragaloside I
(モンゴル国ウブスハンガイ県にて、2006年7月22日、小松かつ子撮影)

黄耆は古来補薬の長とされ、補中益気湯、人參養榮湯、黄耆建中湯などに配合される。これまで黄耆エキスに強壯、免疫賦活、血圧降下、利尿作用などが報告されてきたが、近年サポニン成分のastragaloside類に神経突起伸展、シナプス再形成、記憶障害改善作用も見出され、高齢者医療に有用な生薬として再認識されている。